「平成30年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催

2019年2月27日

2月27日（水）、自然科学系図書館棟１階大会議室において、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「平成30年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催しました。報告会は、平尾　敦 所長の開会の挨拶に始まり、今年度に当研究所との共同研究課題として採択された61研究課題の中から5課題の研究代表者5名による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生ら約91名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

また、金沢大学ナノ生命科学研究所 安藤敏夫 特任教授から、「動的な分子レベルの生命現象を直視する高速AFM」と題して特別講演をいただき、今後の異分野融合研究の発展が大いに期待される大変有意義な報告会となりました。

開会挨拶　平尾 敦 所長

報告１　大阪大学　松田 史生　教授

報告２　国立がん研究センター 中奥　敬史 研究員

報告３　大阪大学　木戸屋 浩康　助教

報告４ 富山大学 早川 芳弘 教授

報告５　京都府立医科大学　山田 忠明　講師

特別講演　金沢大学　ナノ生命科学研究所
安藤 敏夫 特任教授

閉会挨拶　向 智里　理事

平成 30 年度金沢大学がん進展制御研究所

共同利用・共同研究拠点 研究成果報告会

日　時　平成31年 **2月27日(水)**

場　所　金沢大学自然科学系図書館棟 1階 大会議室

プログラム

13:00～13:10 開会のあいさつ　がん進展制御研究所所長　平尾　敦

共同研究成果報告 1　座長：金沢大学がん進展制御研究所　馬場　智久

13:10～13:40 代謝フラックス解析を用いたがん特異的代謝の解明
大阪大学大学院　情報科学研究科　松田　史生

13:40～14:10 肺がんプレシジョンメディシンに向けた新たな治療感受性・抵抗性遺伝子の探索
国立がん研究センター研究所　ゲノム生物学研究分野　中奥　敬史

14:10～14:40 正常造血に必須となる新規の転写ネットワーク制御機構の解明
大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野　木戸屋　浩康

コーヒーブレイク（14:40～15:00）

特別講演　座長：金沢大学ナノ生命科学研究所　松本　邦夫

15:00～16:00 動的な分子レベルの生命現象を直視する高速AFM
金沢大学新学術創成研究機構　ナノ生命科学研究所　特任教授　安藤　敏夫

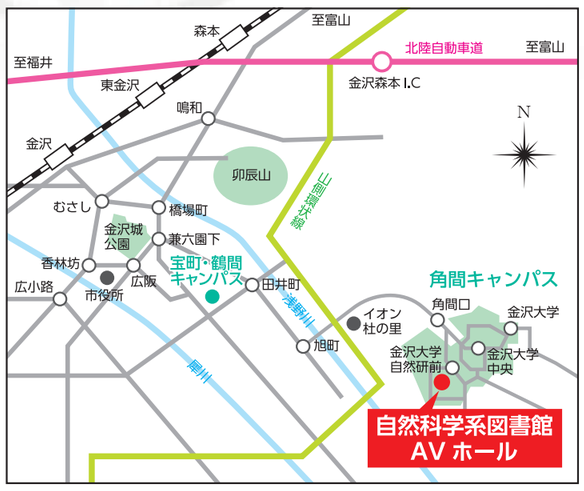
共同研究成果報告 2　座長：金沢大学がん進展制御研究所　平田 英周

16:00～16:30 炎症性がん微小環境のNK細胞による制御機構の解明
富山大学和漢医薬学総合研究所 病態生化学分野　早川　芳弘

16:30～17:00 EGFR変異肺がんのオシメルチニブ治療抵抗性細胞の解明とその治療法開発
京都府立医科大学大学院　呼吸器内科学　山田　忠明

17:00～ 閉会のあいさつ　金沢大学理事　向　智里

アクセスマップ



金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

■お問い合わせ先
金沢大学がん進展制御研究所
〒920-1192　金沢市角間町
TEL 076-264-6702（代表）　FAX 076-234-4527
URL http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/
E－mail : kyoten@adm.kanazawa-u.ac.jp